

編集後記

本報告書は、これまでソーシャルクリニック(SC)活動の報告書として、年に1回定期的に発行してきましたが、昨年度から本報告書は「地域協働推進センター報」として位置づけ、SC活動だけでなく、人材養成プログラムの特色ある講義や実習、地域や学校との連携についても包括的に取り上げる年次報告書となっています。

地域協働推進センターの取り組みを定期的に振り返るとともに、次なる課題を整理・共有することで、当センターはもちろんひいては函館校の教育研究ならびに地域貢献活動の充実を図っていきたいと考えております。

当センターが開発し、今年度入学生から適用を開始した「国際地域イノベーター人材養成プログラム」は、開発担当者の予想を大きく上回り、入学者の約半数が、現在本プログラムを履修中です。時代の要請と学生のニーズを的確に捉えたプログラムが、今後、地域や学校にささやかなイノベーションを引き起こすことができるよう、これまで以上に授業の質の向上と、実習プログラムの拡大・充実に努めてまいります。皆様からの忌憚のないご意見もいただければ幸甚です。

今後とも当センターの取り組みにご理解・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2022年3月

北海道教育大学函館校 地域協働推進センター
センター長 齋藤 征人